

解答例および出題意図

《解答例》

問 1

学生の間で写し回されている講義ノートにしたがって、その一部を答案用紙に写し

問 2

長く勤めていた水産講習所での羽原先生の授業ではサボるような学生は少なかったから。

問 3(1)

1600 年頃のイギリスの重商主義という外国のことを卒業論文のテーマで選んでいた著者に日本国内の漁業の歴史を調べるという課題を出し、それが日本史の研究への「方向付け」となった。

問 3(2)

親の仕事の都合で小学 4 年生から 6 年生まで長崎県長崎市に住んだことが、自分の進路を考えるうえでの「方向付け」となった。長崎に住むようになってから、家の食事に魚料理が並ぶことが増えた。その理由を聞いたところ、それまで住んでいた東京に比べ、「新鮮な魚が安く手に入りやすいから」ということであった。魚をたくさん見て、食べるようになったことで、私は魚料理や魚自体に興味を持つようになった。中学生になって東京に戻ると、ふたたび魚料理の頻度が下がってしまった。そのことから「なぜ東京では長崎のように新鮮な魚を安く買えないのか」という問題意識を持つようになった。食事という生活の基盤にあることであり、社会全体にとっても重要な問題であると思い、この問題を深く考えられるようになるために、大学進学に際して貴学科を志望するという結果となった。

《出題意図》

問 1

前後の文脈を理解し、欠落部分について内容を想起する力を問うている。

問 2

示されている内容から、事象が発生した要因を考える力を問うている。

問 3(1)

発生している事象を正しく理解する力を問うている。

問 3(2)

自身の経験を他者に対して論理的で判りやすく伝える力を問うている。